

平成 27 年度
学校関係者評価 報告書

平成 28 年 3 月

学校法人康学舎
上尾中央医療専門学校
学校評価委員会

平成 27 年度 学校関係者評価報告書

学校法人 康学舎
上尾中央医療専門学校
学校関係者評価委員会

上尾中央医療専門学校 学校評価委員会が実施した平成 27 年度自己評価結果に基づき、下記により開催した学校関係者評価委員会における審議結果を、以下のとおり報告いたします。

記

1 学校関係者評価委員

委員長	上尾市立上尾中学校 校長	講内 靖夫
委員	医療法人社団 協友会 メディカルトピア草加病院 事務長	久保田 巧
委員	上尾中央医科グループ協議会 リハビリテーション部 副部長	奥村 博文
委員	上尾中央医療専門学校 理学療法学科 学生保護者	原 裕子
委員	上尾中央医療専門学校 理学療法学科 卒業生 (医療法人社団 愛友会 伊奈病院 リハビリテーション科 理学療法士)	荻原 佑佳梨

2 学校評価委員（教職員）

上尾中央医療専門学校	事務長	目谷 昭
上尾中央医療専門学校	理学療法学科 学科長	高島 恵
上尾中央医療専門学校	作業療法学科 学科長	神山 真美
上尾中央医療専門学校	理学療法学科 副学科長	加藤 研太郎
上尾中央医療専門学校	作業療法学科 副学科長	梅津 聡
上尾中央医療専門学校	理学療法学科 専任教員	白石 和也
上尾中央医療専門学校	事務局 主任	真下 博子

3 学校関係者評価委員会

(1) 第1回委員会

①日時 : 平成27年6月25日(木) 14:00~17:00

②場所 : 上尾中央医療専門学校 織物手工芸絵画室

③会議概要

- ・昨年度の活動報告と課題点
- ・本年度重点目標ならびに事業計画説明
- ・本年度 自己評価項目の説明
- ・授業ならびに校内見学
- ・学生・保護者アンケートについて検討

(2) 第2回委員会

①日時 : 平成27年9月9日(水) 14:00~17:00

②場所 : 上尾中央医療専門学校 織物手工芸絵画室

③会議概要

- ・平成27年度 中間自己評価内容について報告
- ・上記内容に対する意見や提案
- ・学生・保護者アンケートについて決定

(3) 第3回委員会

①日時 : 平成28年2月4日(木) 14:00~17:00

②場所 : 上尾中央医療専門学校 織物手工芸絵画室

③会議概要

- ・平成27年度 最終自己評価内容報告について報告
- ・上記内容に対する意見や提案
- ・結果公表について
- ・次年度について

4 評価の目安

(1) 学校自己評価

- ・評価細項目について、教職員が4段階で自己評価を実施。

4 : 適切 3 : ほぼ適切 2 : やや不適切 1 : 不適切

(2) 学校関係者評価

- ・自己評価が適切になされているか、3段階で評価。評価者5名分の評価を割合で表記する。

A : 80% B : 60% C : 40%

5. 評価項目ごとの審議結果

評価項目 1 教育理念・目標			
学校の方針	教育理念および目標が明確かつ、社会の要請に応えるものであること。 また、教職員・学生・保護者が共通認識をもち、教育および学習に取り組むことを目指す。		
評価の視点	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の理念、目的、育成人財像は定められているか ・育成人財像は、業界等の人材ニーズに適合しているか ・理念等の達成に向けた特色ある教育活動に取り組んでいるか ・業界・職種の動向を踏まえ、中期的（3~5年）視点で学校の将来構想を定めているか ・学校の理念、目的、育成人財像、特色、将来構想などが、教職員・学生・保護者等に周知されているか 		
学校自己評価	学生アンケート	保護者アンケート	
評価項目平均 4.0	Q1. 学校の教育理念・目標について理解している		
<今年度の主要な活動> ・中期事業計画を明確にした。 ・職業実践教育活動の取り組みを集約し、文科省へ申請した。 ・保護者会、学生便覧等を活用し、理念・目標等の周知に努めた。 <課題> 特になし			
<特記事項> 学則等の情報はホームページに公開している。	Q2. 学校の規則について理解している		
学校関係者評価			
評価活動の適切性	A	B	C
	100% (5名)	0% (0名)	0% (0名)
<ご指摘、ご意見、ご提案等> ・以前よりも、学生に学校の理念・目的などが周知されていると感じた。 ・Q1のアンケート結果を見ると、学生は7割・保護者は8割理解しているということで、理念・目標が明確になってきたのではないかと感じた。			

- ・一方で、アンケート結果においてなぜ「そう思わない」のかがとても重要。何を考えて「そう思わない」と言っているのかを知るために、アンケートのフィードバックをする際に「そう思わない」と答えた方は、「なぜそう思われましたか?」「どのようにすればより良くなると考えますか?」という設問でコメントをもらうという方法もある。時間があればこのようなアンケートをしても良い。

評価項目 2 学校運営

学校の方針 学校運営の質向上に努め、各種法令に則った運営（コンプライアンス体制の確立）を目指す

- 評価の視点
- ・理念、目的等に沿った運営方針が策定されているか
 - ・運営方針に沿った事業計画が策定されているか
 - ・学校運営のための組織を整備しているか
 - ・人事、給与に関する規定等は整備されているか
 - ・意思決定システムは整備され、適切に運用されているか
 - ・情報システム化に取り組み、業務の効率化を図っているか

学校自己評価

評価項目平均 3.7

<今年度の主要な活動>

- ・理念・目的等に沿った運営方針を継続して策定した。
- ・中期事業計画書を整備した。
- ・事業計画進捗状況が確認できる資料として、事業進捗確認書を作成し運用した。
- ・教員採用規程の詳細を整備した（就業規則等、元の規定を活用し詳細を明確化）。

<課題>

- ・事務分掌を含めた校務分掌の見直しが必要である。
- ・意思決定システムを整備しているが、フローの定着に課題が残る。

<今後の改善方策>

- ・校務分掌の見直しが必要である。
- ・意思決定システムの適切な運用について引き続き検討が必要である。

<特記事項>

- ・上尾中央医科グループの経営方針と連動する。

学校関係者評価

	A	B	C
評価活動の適切性	100% (5名)	0% (0名)	0% (0名)

<ご指摘、ご意見、ご提案等>

- ・教員採用規程の詳細が整備されたことは大変良い事だと思う。
- ・事業計画進行状況について「○」をつけながら進められるということは、状況にもれがなくなると思うので良いと思う。
- ・学校が上尾中央医科グループの中にあるということがもっとわかると、さらに安心感が上がるのではないか。

評価項目 3 教育活動

学校の方針 各委員会を設立・運用し、教育活動の質向上とその体制構築を目指す。

- 評価の視点
- ・教育理念、目標、学校の特色等に沿った教育課程の編成方針・実施方針等が策定されているか
 - ・学科ごとに就業年数に応じた教育到達レベルを明確にしているか
 - ・教育理念、目標に沿った教育課程を体系的に編成しているか
 - ・関連分野の業界団体や企業等との連携により、教育課程の作成・見直し等が行われているか
 - ・キャリア教育、実践的な職業教育の視点に立った教育課程や教育方法の工夫、開発などが実施されているか
 - ・定期的に各科目のシラバス、内容等の見直しがなされているか
 - ・実践的な職業教育が体系的に位置づけられ、その質が担保されているか（実習指導者の教育、外部関係者の評価を含む）
 - ・授業評価の実施、評価体制はあるか
 - ・成績評価、単位認定、進級、卒業判定の基準は明確になっているか
 - ・定期的に学生面談を実施し、必要に応じて個別指導を実施しているか
 - ・資格取得の指導体制はあるか
 - ・教育要件を備えた教員を確保しているか
 - ・教員の能力開発のための研修等が行われているか
 - ・教員が臨床能力を高めるための環境を整備し、実施できているか
 - ・教員の組織体制を整備しているか

学校自己評価

学生アンケート

保護者アンケート

評価項目平均 3.7

<今年度の主要な活動>

- ・各委員会ならびに事務局、教育部、各学科において、教育の質向上の為の取り組みを実施している。

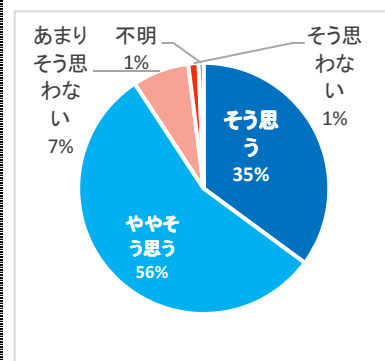
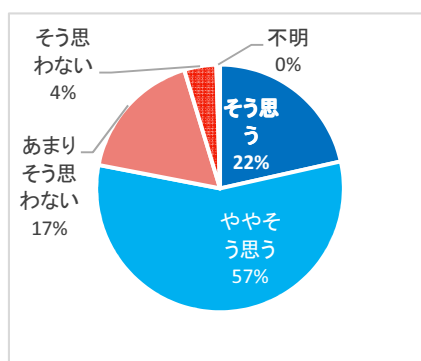
<課題>

- ・常に臨床ニーズを把握し、よりよい教育課程の編成を検討していく必要がある。
- ・キャリア教育への取り組みについて検討が必要である。
- ・定期的に教育方法の効果判定と見直しが必要である。
- ・校務分掌の見直しが必要である。
- ・各教員が研修参加や研究発表をしているが、その実施にばらつきがある。

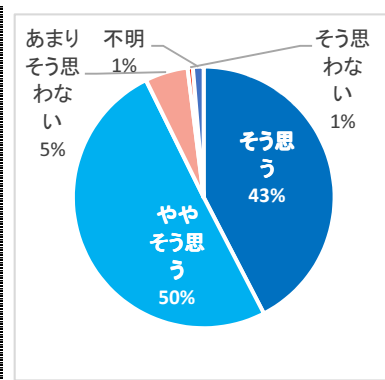
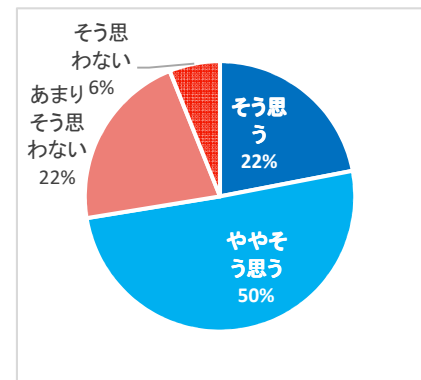
<今後の改善方策>

- ・カリキュラム委員会において、平成 28 年度からの教育課程改訂に向け、計画的に検討、事業を進めている。また、臨床セラピストと協同して教育課程、各科目の内容等の検討を継続して実施していく。
- ・キャリア形成をサポートする人員を育成し

Q3. 理念等に合致した、特色ある教育がなされている



Q4. 体系的に教育課程（カリキュラム）が編成されている



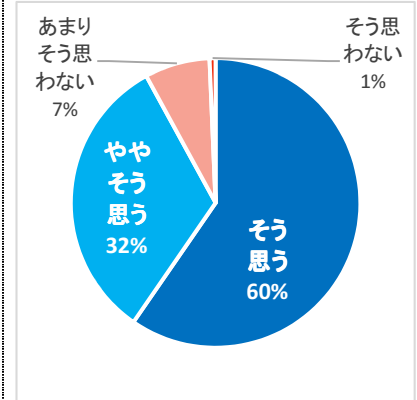
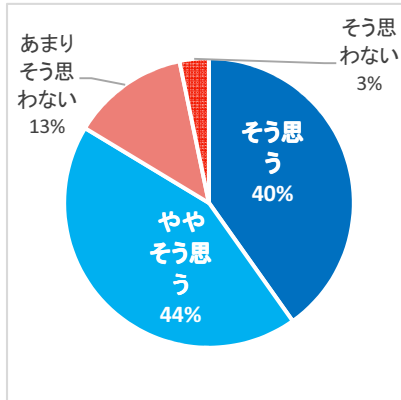
ていくとともに、キャリア教育の方針を検討、策定していく。

- 定期的に教育方法の効果判定と見直しを実施するとともに、常により良い教育方法を検証し実施していく。
- 学校関係者評価を継続して実施していくとともに、各評価項目に沿った事項について整備していく。
- 教職員教育委員会において、職能要件として教員に必要な資質に関する事項を整備し、運用している。要件に沿った体系的な能力開発の実施から、適切かつ効果的な教職員評価を経て教育に活用し、教育の質の向上を図る。
- 研修計画に沿った研修参加を徹底し、適宜、実施状況を確認する。また、各教員がテーマを持ち、主体的に研究に取り組む。
- 校務分掌を見直し、作成していく。

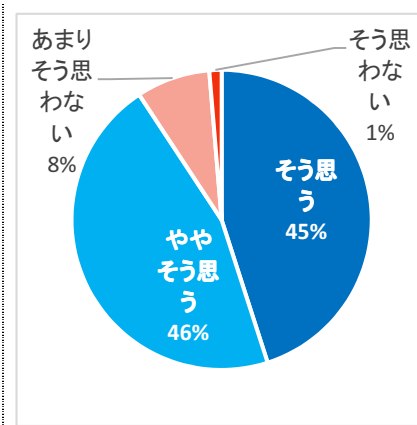
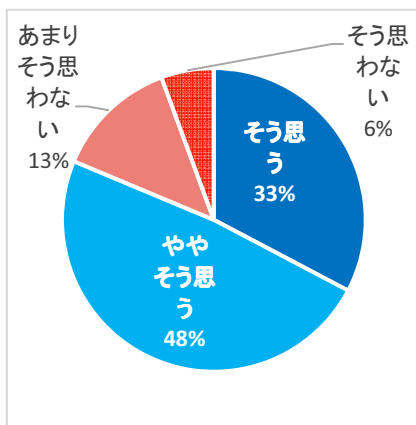
<特記事項>

- 各方策において上尾中央医科グループのスケールメリットを十分に活用し実施していく。

Q5. 就職や資格取得に対する十分な指導・教育がなされている



Q7. 学校の個別相談や指導は適切になされている



学校関係者評価

	A	B	C
評価活動の適切性	100% (5名)	0% (0名)	0% (0名)

<ご指摘、ご意見、ご提案等>

- 日頃意識していないことを、あらためて自らの学びの場を振り返る良い機会と生徒はなっていると思う。
- アンケート Q4 だけ、他と比べてネガティブ回答が多いのはなぜか。質問の理解が乏しい可能性もある。
- アンケート Q7 の「あまりそう思わない」「そう思わない」の合計が 20%。決して多くはないが、この質問は意図がわからないわけではないだろう。どうすれば良いか、学生に意見をもらってはどうか。ここを改善できれば大きなプラスが生まれるのでは。

評価項目 4 学修成果

学校の方針 教育の質を担保し進級率を向上させ、臨床に必要とされる多くの卒業生（定員の9割）を輩出することを目指す。

評価の視点

- ・就職率の向上が図られているか
- ・資格取得率の向上が図られているか
- ・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか

学校自己評価

学生アンケート

保護者アンケート

評価項目平均 3.3

Q5. 就職や資格取得に対する十分な指導・教育がなされている

<今年度の主要な活動>

- ・就職支援活動を実施。現職者との交流会、就職ガイダンスを実施した。
- ・就職状況の把握、学生への就職試験対策指導、就職先希望の把握などを通じて就職支援を実施した。

<課題>

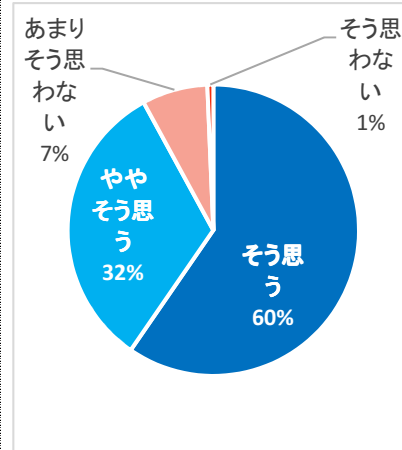
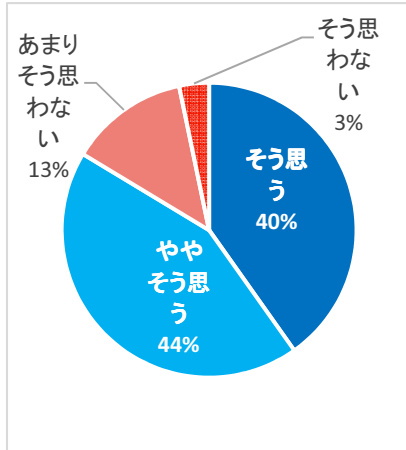
- ・資格取得率向上に向けた指導方法は検討しているが、効果についての再検討・再確認が必要である。
- ・卒業生の実績等が十分把握できていない。

<今後の改善方策>

- ・資格取得率向上に向けた分析を実施する。
- ・卒業生の実績を確認する。

<特記事項>

- ・9月20日（日）OB会総会と同時開催の勉強会にて本校教員が講師を務め、OB会と学校のつながりを強化できた。同日、卒後教育として症例検討会を実施し、卒業生の活躍の一部と成長ぶりを把握することができた。



学校関係者評価

評価活動の適切性

A

B

C

100% (5名)

0% (0名)

0% (0名)

<ご指摘、ご意見、ご提案等>

- ・3年間は長いようで短い。目標は国家試験合格および就職なので、そこに至るまでの3年間で1年次より意識させる方策が必要ではないだろうか。例えば年表のような、(説明だけでは伝わらないこともあるので)視覚に訴える掲示物があっても良い。
- ・保護者の方々のアンケート結果がありがたい。Q5に関しては学生に他校にはない国家試験対策のメリットを伝える努力を継続してほしい。
- ・OB会の役員をどう決めていくか。
- ・図書館の開放時間について、卒業生が利用しやすい環境をつくることで卒業生の現状把握や在校生との交流などさまざまなメリットがあると思う。

評価項目 5 学生支援

学校の方針 在校生が心身ともに健全な状態で、学習活動に専念できる環境作りを目指す。
また、卒業生がキャリアアップできるためのサポート体制構築を目指す。

- 評価の視点
- ・進路や就職に関する支援体制は整備されているか
 - ・退学率の低減が図られているか
 - ・学生相談に関する体制は整備されているか
 - ・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか
 - ・学生の健康管理を担う組織体制はあるか
 - ・課外活動に関する支援体制は整備されているか
 - ・学生の生活環境への支援は行われているか
 - ・保護者と適切に連携しているか
 - ・卒業生への支援体制はあるか

学校自己評価

学生アンケート

保護者アンケート

評価項目平均 3.8

<今年度の主要な活動>

- ・学生との個別対応や情報共有を強化した。
- ・OB 会との連携を強化した。

<課題>

- ・学校独自の奨学金制度は整備されていない（28 年度に向けて調整中）。
- ・健康に関する啓発活動が十分ではない。

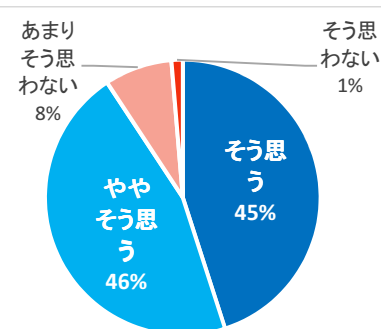
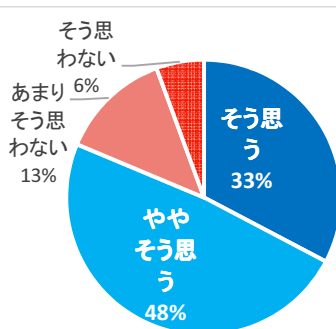
<今後の改善方策>

- ・奨学金制度は作業療法学科で整備中である。
- ・OB 会と連携をさらに強化し、グループ内での卒業教育の方法を検討する。

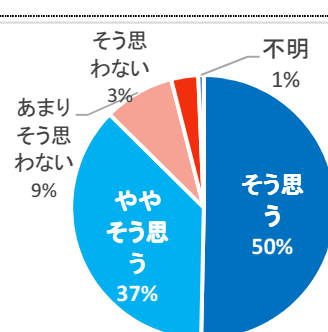
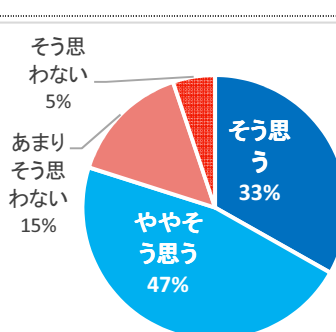
<特記事項>

- ・昨年の状況を踏まえ、職員によるサポート体制を整備する。

Q7. 学校の個別相談や指導は適切になされている



Q8. 教員は保護者に必要に応じて連絡し、家庭との連携を図っている



学校関係者評価

評価活動の適切性

A

B

C

100% (5名)

0% (0名)

0% (0名)

<ご指摘、ご意見、ご提案等>

- ・卒業生との関わり、今後も関わっていただきたい。ネットワークは社会人としても大切であるとする。
- ・OB 会の役員にもアンケートをとってみたい。また、運営方法についても引き続き助言をお願いしたい。
- ・今年はインフルエンザのワクチン接種が遅かった（12月）。適切な時期での接種をお願いしたい。

評価項目 6 教育環境

学校の方針 施設・設備の整備と保全を強化し、教育環境の向上を目指す。
また、教職員・学生への周知を徹底し、適切な対応ができることを目指す。

- 評価の視点
- ・教育の必要性に十分対応した施設・設備等が整備されているか
 - ・学外実習・臨床実習等の教育体制を整備しているか
 - ・防災に対する体制は整備されているか
 - ・学内における安全管理体制を整備し、適切に運用しているか

学校自己評価

学生アンケート

保護者アンケート

評価項目平均 3.3

Q6. 学校の施設・設備・防災設備は十分に整っている

<今年度の主要な活動>

- ・関係法令に準拠した教育環境の維持管理を実施した。
- ・ハワイ研修や臨床実習体制の見直しを実施した。
- ・学校安全規程の再整備中である。

<課題>

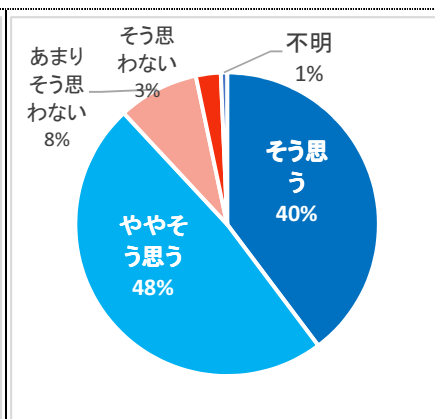
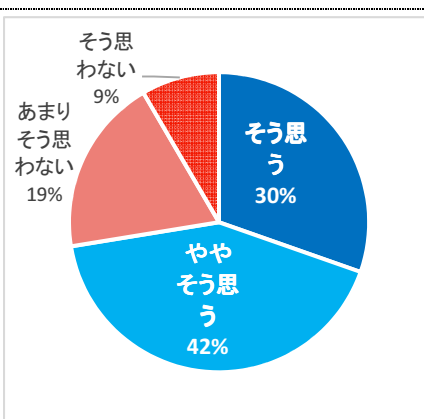
- ・学校保健安全法に基づくマニュアルの再整備が必要である。
- ・一部の備品について転倒防止対策がされていない。

<今後の改善方策>

- ・学校保健安全法に基づく詳細なマニュアルを整備する。
- ・安全管理体制の適正な運用を実施する。
- ・転倒防止対策について、備品メーカーに相談する。

<特記事項>

- ・環境管理委員会にて備品関係、危機管理委員会にて学校安全規程を再整備中である。



学校関係者評価

評価活動の適切性

A

B

C

100% (5名)

0% (0名)

0% (0名)

<ご指摘、ご意見、ご提案等>

- ・各種マニュアルは早めの作成が必要と考える。
- ・図書室の有効利用を検討してほしい。
- ・卒業生に対しても図書室の利用時間（開室時間の延長）の検討をお願いしたい。特に働くようになってから図書室の必要性を感じている。

評価項目 7 学生の受入れ募集

学校の方針	適切かつ効果的な学生募集活動の充実を目指す。		
評価の視点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高等学校等、関係機関に対する情報提供等の取組を行っているか ・ 学生募集活動は、適切かつ効果的に行われているか ・ 入学選考基準を明確化し、適切に運用しているか ・ 入学選考に関する実績を把握し、授業改善等に活用しているか ・ 経費内容に対応し、学納金を算定しているか ・ 入学辞退者に対し授業料等について適正な取り扱いを行っているか 		
学校自己評価			
評価項目平均 3.5			
<p><今年度の主要な活動></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任の広報担当職員による高校訪問を継続して実施している。 ・ 入学選考時と入学後の傾向を分析した。 ・ 他校との学納金比較表を作成した。 <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 高等学校教職員向けの入学説明会が実施できていない。 ・ 入学者の傾向について把握はできているが、授業方法の検討までされていない。 ・ 学生募集活動における工夫が必要である。 <p><今後の改善方策></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校案内は、更に質の良いものが提供できるよう準備をする。 ・ 高等学校教職員向けの入学説明会を、来年度から実施する。 ・ 入学者の傾向について、入学前教育委員会及び入試委員会からデータを集約し、カリキュラム委員会で授業方法について検討する。 ・ 学生募集活動に関する調査、分析、効果判定の方法ならびに指標とするものを運営会議で検討する。 <p><特記事項></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 特になし。 			
学校関係者評価			
評価活動の適切性	A	B	C
	100% (5名)	0% (0名)	0% (0名)
<p><ご指摘、ご意見、ご提案等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本校の名の周知に是非努めていただきたい。 ・ パンフレットはよく出来ている。さらに良くするために意見を聞いてみては。 ・ パンフレットの活用方法について、どのように情報を流すか（電子パンフレットなど）も検討しても良いのでは。 			

評価項目 8 財務

学校の方針	教育目標との整合性のある予算編成や必要な財務分析を経て、安定した財務基盤を目指す。		
評価の視点	<ul style="list-style-type: none"> ・学校及び法人運営の中長期的な財務基盤は安定しているか ・主要な財務数値に関する財務分析を行っているか ・教育目標との整合性を図り、単年度予算・中期計画を策定しているか ・予算及び計画に基づき適正に執行管理をおこなっているか ・財務について会計監査が適正に行われているか ・財務情報公開の体制整備はできているか 		
学校自己評価			
評価項目平均 4.0			
<p><今年度の主要な活動></p> <ul style="list-style-type: none"> ・中長期目標にそった財務運営を行っている。 ・会計監査を適正に実施している。 ・財務情報を公開している。 <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・全てについて指標を網羅した。 <p><今後の改善方策></p> <ul style="list-style-type: none"> ・所轄法令を踏まえながら毎年検討を加えていく。 <p><特記事項></p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になし。 			
学校関係者評価			
評価活動の適切性	A	B	C
	100% (5名)	0% (0名)	0% (0名)
<p>ご指摘、ご意見、ご提案等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・適正に管理されており、特に意見はなし。 			

評価項目 9 法令等の遵守

学校の方針	法令等の遵守と学校評価活動の充実、さらに情報公開の推進により、適切で適正な学校運営を目指す。
評価の視点	<ul style="list-style-type: none"> ・法令・専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか ・個人情報保護に関する対策がとられているか ・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか ・自己評価結果を公開しているか ・学校関係者評価の実施体制を整備し、評価を行っているか ・学校関係者評価結果を公表しているか ・教育情報に関する公開を積極的に行っているか

学校自己評価	学生アンケート	保護者アンケート
--------	---------	----------

評価項目平均 3.7	Q9. 教育活動等に関する情報公開は適切に行われている																					
<p><今年度の主要な活動></p> <ul style="list-style-type: none"> ・各法令の遵守と見直しを図った。 ・自己評価結果を公開した。 ・学校関係者評価結果を公開した。 <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人情報保護方針、電磁記録の取扱等の見直しが必要である。 ・個人情報管理に関する啓発が必要である。 ・情報公開について「情報提供等への取組に関するガイドライン」を全て満たしている内容とはいえない。 <p><今後の改善方策></p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人情報保護方針、電磁記録の取扱等について、見直しをしていくとともに、啓発及び教育を実施する。 ・「情報提供等への取組に関するガイドライン」を全て満たしている内容となるよう詳細な見直しを行う。 <p><特記事項></p> <ul style="list-style-type: none"> ・危機管理委員会にて、個人情報保護に関する事項を見直し中。 	<table border="1" style="margin: 10px auto;"> <caption>学生アンケート結果 (Q9)</caption> <tr><th>回答</th><th>割合</th></tr> <tr><td>そう思う</td><td>18%</td></tr> <tr><td>ややそう思う</td><td>51%</td></tr> <tr><td>あまりそう思わない</td><td>25%</td></tr> <tr><td>そう思わない</td><td>6%</td></tr> </table>	回答	割合	そう思う	18%	ややそう思う	51%	あまりそう思わない	25%	そう思わない	6%	<table border="1" style="margin: 10px auto;"> <caption>保護者アンケート結果 (Q9)</caption> <tr><th>回答</th><th>割合</th></tr> <tr><td>そう思う</td><td>34%</td></tr> <tr><td>ややそう思う</td><td>56%</td></tr> <tr><td>あまりそう思わない</td><td>8%</td></tr> <tr><td>そう思わない</td><td>2%</td></tr> </table>	回答	割合	そう思う	34%	ややそう思う	56%	あまりそう思わない	8%	そう思わない	2%
回答	割合																					
そう思う	18%																					
ややそう思う	51%																					
あまりそう思わない	25%																					
そう思わない	6%																					
回答	割合																					
そう思う	34%																					
ややそう思う	56%																					
あまりそう思わない	8%																					
そう思わない	2%																					

学校関係者評価

	A	B	C
評価活動の適切性	100% (5名)	0% (0名)	0% (0名)

<p><ご指摘、ご意見、ご提案等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・法令関係は難しく捉えすぎない方が良い。
--

評価項目 10 社会貢献・地域貢献

学校の方針	社会・地域貢献の更なる充実を目指す。
評価の視点	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか ・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか

学校自己評価

評価項目平均 3.0

<今年度の主要な活動>

- ・社会・地域貢献検討チームを立上げ、方向性および事業内容について検討した。
- ・教職員および学生に対し、貢献に関する意識および経験の有無、活動案などを調査した。
- ・上尾市リハビリテーション協議会に参加し、介護・予防事業への協力体制が整った。
- ・学校独自の貢献活動を平成 28 年度より準備運営できるよう、企画の準備中である。

<課題>

- ・社会貢献、地域貢献に関する規程を整備していく必要がある。
- ・現在、学校独自での活動(公開講座・クリーンデイなど)を準備段階である。
- ・ボランティアを含む活動の評価、および結果について学内で共有していく必要がある。

<今後の改善方策>

- ・学校諸規定について検討し整備していく。
- ・現在検討している事業企画(介護支援事業、公開講座を、クリーンデイ)を平成 28 年度より段階的に開始していく。
- ・平成 29 年度開始予定の職業・キャリア教育、カリキュラムと連動した貢献活動の準備を進めていく。
- ・諸活動の評価および結果の共有方法について検討していく。

<特記事項>

- ・学生のカリキュラム(学事スケジュール)が過密であり、夏季・冬季の長期休暇を取る事も難しい現状であるが、最大限ボランティアへの参加推奨と支援を行っている。
- ・ポスター掲示や啓発などを実施し、学業とのバランスを取りながら参加支援を継続していく。

学校関係者評価

評価活動の適切性	A	B	C
	100% (5名)	0% (0名)	0% (0名)

<ご指摘、ご意見、ご提案等>

- ・取り組みは進んできたと考える。学生は社会人として社会性、コミュニケーション能力を身につけていなくてはならず、多くの人とふれあう場は大切だと考える
- ・3年制の学校なので学生はボランティアの時間がないのは確かだが、人と関わる職業なので、社会性やコミュニケーション能力を養える機会はあった方がよい。地域の防災訓練に参加してみるのもひとつの手段ではないか。

6. 総評

- これまでしっかりと評価活動を行ってきた結果が出ていることもあり、次からは評価項目をもっと絞ってもよい。それによって実行可能で身近な評価活動になってくると思われる。
- 学生の様子ができるよう、しっかり関わって行っていただきたい。
- 学校がここまで上尾中央医科グループに守られていると思わなかった。就職まで保障されていると言っても過言ではない安心感がある。
- 知人と話していても、作業療法・理学療法の学校が近くにあることを知らない方たちが多くいる。是非他の保護者達にも知ってもらいたい。
- (知ってもらうためには) 情報発信がキーワードとなる。自分達は有名だと思っても地域の方々はその対象でなければ興味がない。その人達にどう情報発信をしていくかを検討していく必要がある。
- 今後も、包括的に評価するのではなく一つひとつを評価しながら進めていく作業が重要である。
- 他の学校に勝っているところが沢山あるので、そこは上手にアピールして今後に生かして欲しい。真摯におこなっているところは公表して理解してもらわないと勿体ない。
- 在学中、自分たちは学校に守られていたことを痛感した。自分たちが在学していた頃よりも良い環境が整っていると感じる。実習指導者として自分も勉強し、今後も学校と携わっていきたい。

以上